

H.C.R. 2022は みやび 雅なビジュアルデザイン が彩ります!!

H.C.R. 2022のビジュアルデザインが決定しました！
 今年のデザインは、「新版画時代」を代表する版画家・洋画家である吉田博氏の作品
木版画「雲表」です。
 繊細な光の美しさを描いた作品で、雲海の中、陽光に浮かぶ富士に来年50周年を迎えるH.C.R.の姿を重ねつつ、雅やかに開催する49回の展示会をイメージいたしました。
 このビジュアルデザインは、H.C.R. 2022の告知ポスターやリーフレット、9月開催のWeb展のデザインなどに用い、展示会を彩るとともに開催を大きくアピールします。



◆作品名 **木版画「雲表」**

◆作者 **吉田 博氏**

【作品介绍】 版画家 吉田 司氏

吉田博の木版画「雲表」は日本南アルプス集6点の中の作品で、南アルプスから富士山を望み「駒ヶ岳山頂より」と対になっている。雲を主題とした代表作で、富士山との対比的な表現を使い自由にダイナミックな輪郭線とボカシ摺りを重ねたグラデーションが特徴となっており、遠くの雲と近くの雲の表現の違いによって遠近感を出しています。長期間山にこもって描いたこの作品から自然を愛する気持ちが伝わってきます。

長男の遠志は歩行に困難がありましたが、博は山やインドなどへの旅行を彼とともにしました。その後遠志は南極やアフリカを始めヨーロッパ、オーストラリアなど世界中を旅し絵を描いていくようになっていきました。障害のある長男の将来について、何か特別な思いを抱いての博の行動だったのではないのでしょうか。

プロフィール

1876年(明治9年) - 1950年(昭和25年)。福岡県久留米市出身。新版画を代表する版画家であり、洋画家。日本最初の洋画団体である太平洋画会(現・太平洋美術会)の中心人物として活躍しつつ、1920年代に初めて木版画制作に挑戦し、新たな境地を切り開く。西洋画の写実的な描写と、日本の伝統的な木版技術を融合させた独自の手法による吉田博の版画作品は、色彩豊かかつ、微妙な陰影や光の移ろいを描き出す表現が特徴的。鋭敏で繊細、そして詩情豊かな作品は世界中で高い評価を得ており、作品を身近に置かれていたというダイアナ元妃をはじめ、海外にもファンが多数。没後70年を迎えた昨年(2021年)には、「没後70年 吉田博展」を東京をはじめ、全国各地で巡回展を開催。

●H.C.R. 2022 開催概要

	リアル展「第49回国際福祉機器展」	Web展「国際福祉機器展Web2022」
主催	全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会	
後援(予定)	厚生労働省 経済産業省 総務省 国土交通省 東京都 海外参加国大使館	
協賛(予定)	NHK 厚生文化事業団/読売光と愛の事業団/毎日新聞東京社会事業団/産経新聞厚生文化事業団/日本経済新聞社/東京新聞/東京新聞社会事業団/朝日新聞厚生文化事業団/福祉新聞社/日本赤十字社/福祉医療機構/鉄道弘済会/東京都社会福祉協議会/全国心身障害児福祉財団/長寿社会開発センター/シルバーサービス振興会/テクノエイド協会/日本理学療法士協会/日本作業療法士協会/日本アビリティーズ協会/日本障害者リハビリテーション協会/日本リハビリテーション医学会/全国老人クラブ連合会/みずほ教育福祉財団/キリン福祉財団/清水基金/みずほ福祉助成財団/丸紅基金/三菱財団/SOMPO福祉財団/中小企業基盤整備機構	
会期	10月5日(水)～7日(金) 10:00～17:00 (7日(金)のみ16:00まで)	9月5日(月) 10:00～11月7日(月) 17:00
会場	東京国際展示場「東京ビッグサイト」東展示ホール	H.C.R.特設サイト
入場料/閲覧料	無料(登録制:事前もしくは当日)	
出展社(予定)	343社(Web展のみの出展社を含む) ※7月20日時点	
来場者見込み	10万人	100万ビュー
展示対象	高齢者及び障害者(児)の日常生活の自立促進や社会参加のための福祉機器、リハビリテーション機器や介護機器・用品	

最新情報をチェック!

◆Facebook

H.C.R.関連情報や、福祉関連団体の情報を発信中!

Facebookページ名

一般財団法人 保健福祉広報協会

URL

<https://www.facebook.com/hcrjapan>



◆広報協メールマガジン

保健福祉Newsの発信情報やH.C.R.関連情報を配信!

登録はこちら

<https://www.hcrjapan.org/mail/intro.html>

